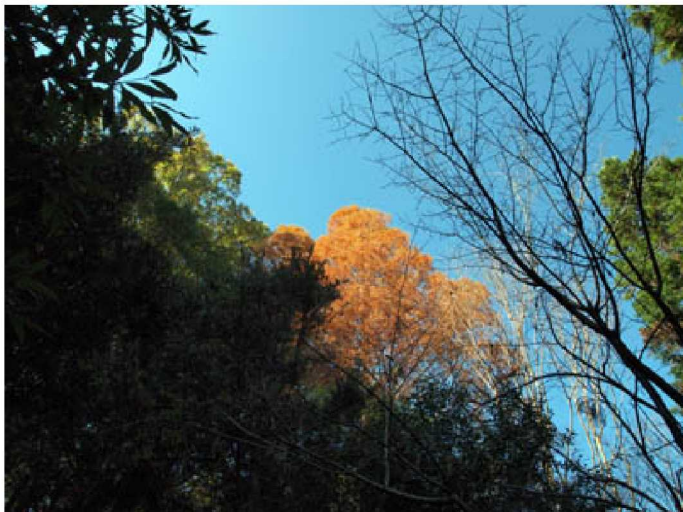
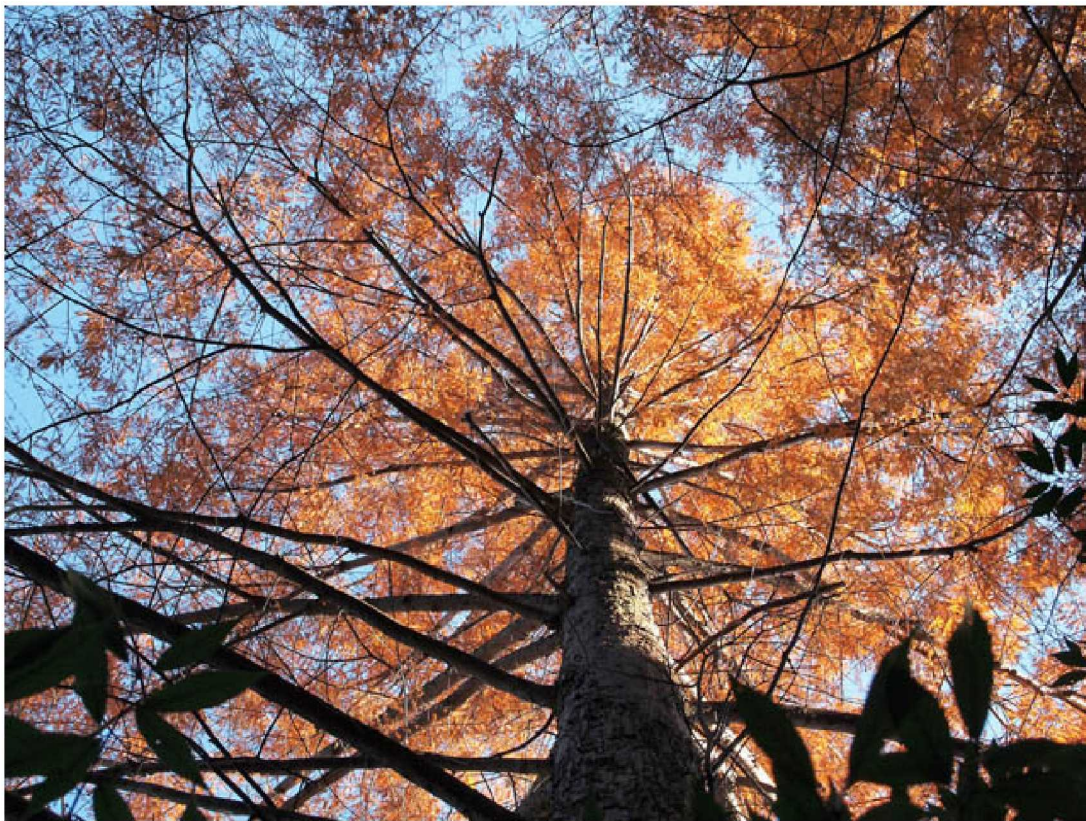


「今月の1枚」





メタセコイア（スギ科 メタセコイア属） *Metasequoia glyptostroboides*

日本では公園や並木道などに広く植えられている落葉高木です。秋から初冬にかけて緑だった葉はやや明るい茶色（赤茶色）へと変わり、常緑樹の多い四国支所構内ではひととき目立つ存在となります。

1939年に日本の新生代第三紀の地層から化石として発見され、1941年に三木茂博士によりメタセコイアと名付けられました。その後、このメタセコイアは1945年に中国四川省の奥地で生きていることが確認されたため、「生きた化石」としてとても有名になりました。

参考文献：原色日本樹木図鑑（北村四郎・岡本省吾著、保育社）

（写真・文：酒井寿夫 2011年12月11日 四国支所構内にて撮影）

（No.227 2011.12.26 掲載）